

1) システムの名称 :

PD-S (ピーディー - エス) <ポータブルディスクシステム>

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系 (部門情報システム、PACS、レポート系、モダリティ他)

3) 特色 :

地域連携などで重要度が増しているメディア(CD-RあるいはDVD-R)を使ったDICOM画像の出力が可能。

IHEプロファイルPDI準拠。

DICOMDIRファイルや簡易ビューワ、WEBコンテンツを含み、DICOM画像と表示手段を提供。

匿名化CDの作成機能搭載。

他院からの紹介 CD-Rメディアから、サーバへの画像取り込み機能。

■ ラインナップ

PD-S 単板タイプ

PC付属のCD-Rドライブで、一枚ずつDICOM画像出力するスタンダードタイプ

PD-S チェンジャータイプ

メディアチェンジャーを使用して、連続してDICOM画像出力を実施する大量処理タイプ。

PD-S リモートタイプ(チェンジャーのみ)

SYNAPSE WS上から依頼医が直接書き込みデータを選択して、リモートで出力オーダーが可能で、PD-S出力端末では

オペレーターを介さずに自動でメディア出力できるリモート出力タイプ。

PD-M

PD-S 単板タイプのラベル印字機能などを省略したコスト重視タイプ

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

■ PS-Sリモートタイプシステム概要図

<PD-Sリモートタイプの場合>

■ 診療画像のメディア書き込み機能(PDI準拠)、画像取り込み機能を搭載。
他院紹介等でのメディア運用をこの1台に集約。



■ 他院への紹介

- ① リモートでDICOM画像データ出力の指示を実施する。
- ② DICOM Q/Rで出力画像データを取得して、メディアに焼きこむ
- ③ 出力したメディアで他院に紹介

■ 他院からの紹介

- ①' 他院から紹介された患者様のメディアを受け取る
- ②' メディアから画像データを取り込む
- ③' 紹介患者データを画像サーバに保存する。

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

< IHE-J 準拠 > Actor : Portable Media Importer、Integration Profile : PDI
Actor : Portable Media Creator、Integration Profile : PDI

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合) :

② クライアントスペック

OS : Microsoft Windows XP Professional SP2 日本語版推奨 / Web ブラウザ : Internet Explorer 6.0 SP1 以上
CPU : Intel Pentium4 3.2GHz 以上推奨 / メモリー : 256GB 以上推奨

7) 稼動までに必要な作業・期間 :

1 日～1 週間 (システム規模や施設状況による)

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い) :

6～7 桁 (システム規模により算出)

9) 保守の内容と費用 :

導入初年度は無償、次年度以降は有償保守契約にて対応しています。

費用 : 6～8 桁 (システム規模とご要望内容により算出)

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば) :

富士フィルムメディカル株式会社 <http://fms.fujifilm.co.jp/>

IT ソリューション事業本部 事業推進部

〒106-0031 東京都港区西麻布 2-26-30 富士フィルム西麻布ビル

TEL. 03-6419-8040 FAX. 03-5469-3468